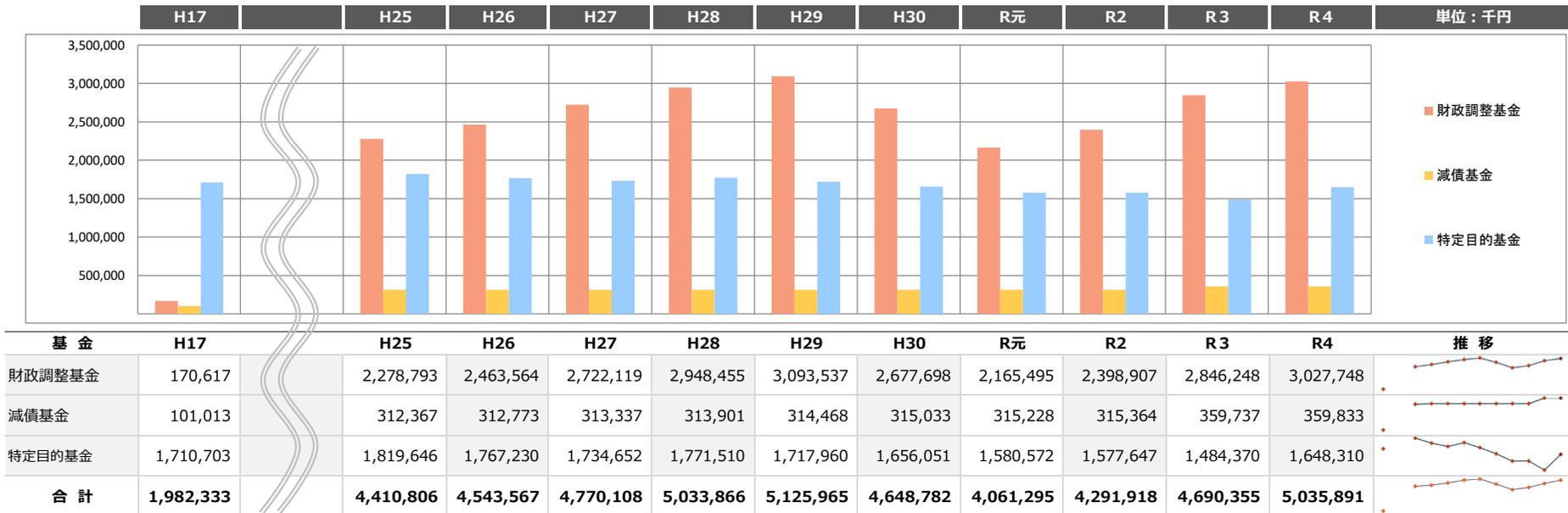


安芸太田町の基金状況

令和4年度末

基金推移（一般会計）



※ 基金には出納整理期間がないが、上表における現在高は、歳入歳出決算を基礎として算定した出納整理後の基金現在高です。

<基金の種類>

① 財政調整基金

突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置されている基金です。
また、財源に余裕のある年度には積立てを行い、財源に不足が生じる年度には取り崩して活用するという、年度間の財源の不均衡を調整する役割を果たします。

② 減債基金

町債（借金）の償還（返済）の増加に備えるために設置されている基金です。
公債費（借金返済）が他の経費を圧迫するような場合には、減債基金を取り崩して公債費に充てます。

③ 特定目的基金

特定の目的のために資金を積み立てておいて、必要ときに取崩して財源等に充てるために設置されている基金です。

- ・温井ダム周辺地域の町有施設整備対策基金 1,569千円
- ・地域振興基金 316,586千円
- ・まちづくり基金 834,990千円
- ・森づくり事業基金 500千円
- ・福祉医療教育支援奨学基金 49,576千円
- ・過疎地域持続的発展事業基金 155,578千円
- ・ふるさと未来・夢基金 221,110千円
- ・森林環境譲与税基金 68,401千円

○ 財政調整基金について

令和4年度は、前年度歳計剰余金等を181,500千円積立て、財源不足を調整するための取崩しは行う必要が無く、基金残高は3,027,748千円となりました。
将来の歳入減少（人口減少による税収減）、歳出増加（公共施設等の老朽化対策等に係る経費の増大）への備えとして重要な役割を果たします。

○ ふるさと未来・夢基金について

ふるさと安芸太田町を愛し、応援しようとする人々の思いを実現化するため、ふるさと納税寄附金を積立て、未来に繋がるふるさとづくりに資する事業の資金としています。
令和4年度は、ふるさと納税寄附金等を151,328千円積立て、次の事業費へ充当するため105,457千円取崩し、基金残高は221,110千円となりました。

- ・ふるさと納税推進事業経費
- ・児童センター運営事業経費
- ・保育所（園）管理事業経費
- ・小学校事業経費
- ・中学校事業経費
- ・観光宣伝事業経費
- ・林業総務管理事業経費
- ・図書館運営事業経費
- ・保健体育総務管理事業経費
- ・文化財保護管理事業経費
- ・流域森林整備事業経費
- ・子ども・子育て支援事業経費
- ・連携教育推進事業経費